

# 幼児科 『アトリエランド』『おやこでアトリエランド』 体験レッスンマニュアル

本マニュアルは、1歳児から5歳児までのお子様を対象とした、体験レッスンに関するご提案の一例です。  
特約店様や講師の皆さまのご事情にあわせてご利用ください。

ローランド・ミュージック・スクール

IAA040

## 1. はじめに

「体験レッスン」では、下記3点がポイントになります。

- ・ 体験レッスンを盛り上げるために、多くの参加者を集める。
- ・ 参加者が満足するレッスンを行う。
- ・ 体験レッスン当日に入会の成約をする。

これらを実現するために作られたのが、この「体験レッスンマニュアル」です。本マニュアルでは、2歳半～5歳を対象とした少人数制のグループレッスン『アトリエランド』および 満1歳～2歳半を対象とした『おやこでアトリエランド』の「体験レッスン」について説明しています。

本マニュアルでは、体験レッスン当日の進行を説明しています。

- ① おやこでアトリエランド(1～2歳児)用体験レッスンカリキュラム (P2～P3)
- ② 2歳児用体験レッスンカリキュラム (P4～P5)
- ③ 3歳児用体験レッスンカリキュラム (P6)
- ④ 4～5歳児用体験レッスンカリキュラム (P7～P8)

このマニュアルを参考に、皆さまの教室にあった「体験レッスン」内容に適宜アレンジしてください。

## 2. 『アトリエランド』の特長とねらい

「体験レッスン」では、各コースについての『特長』や『ねらい』などを、担当講師はもちろんのこと、運営スタッフがよく理解していることが重要です。コース内容の説明や、いろいろな質問に的確に答えることで、保護者からの深い信頼を得ることができます。

### ●将来鍵盤コースに結び付けるための幼児音楽教育

第1回目のレッスンから、ローランド・オルガン ミュージック・アトリエやローランドピアノ・デジタルなどの鍵盤楽器に触れ、子どもたちの身体や脳の発達に合わせた無理のないカリキュラムで、音楽の基礎能力をバランスよく習得します。

### ●自宅教室でも実施可能な3名程度のグループレッスン

講師が生徒一人ひとりに十分に目配りできる適度な人数で、生徒たちの個性に合わせたきめ細かい指導が可能です。さらに、グループ活動を通してコミュニケーション能力、友達を思いやる気持ちなどを育みます。

### ●グループレッスンの中にパートナーレッスンを導入

鍵盤レッスンでは、全員参加型の「パートナーレッスン」を取り入れています。これは、一人の生徒が鍵盤レッスンを受けている間、他の生徒はその演奏に合わせてリズムを打ったり、歌ったりして参加するレッスンです。個人レッスンに加え、他の人の演奏を聴く意識が芽生え、アンサンブル演奏の楽しさを体験します。







### ■使用教材

#### 主教本「プチ・エトワール」

ローランド・ミュージック・スクールが長年培ってきた音楽教育ノウハウをベースにしたオルガンとピアノの導入教本で、「自然に音楽が好きになり、鍵盤に興味湧く」をコンセプトに開発されています。

はじめは「うたうこと」「リズムにあわせ動くこと」や「鍵盤に触れさまざまな音色を楽しむこと」などを通じて音楽に親しみます。その後、徐々にソルフェージュ的な内容が増え、演奏に必要な能力が自然に身につきます。またイラストによってイメージを補助し、そのイメージを具体化し演奏に結び付けるような組み立てになっていますので、表現力と感受性も同時に養われます。

## ① 『おやこでアトリエランド ～1・2歳児～』用 体験レッスンカリキュラム


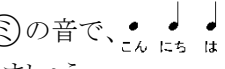
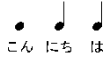
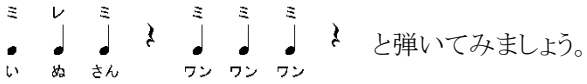
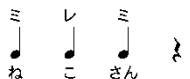

指導方法(話言葉★を含む)	留意点	時間
<b>1. みなさん こんにちは！ ねらい:スキンシップ／模唱 2歳児</b>		
<p>みんなで床に座ります ★始めま〜す。今日は楽しく活動してみましょね。</p> <p>① おててをブラブラばあ〜 先生は歌って手を動かします。 生徒と親は真似をします。</p> <p>② 動物さんにごあいさつ ★こんにちは。みんな上手に出来たね。今度は動物さんにごあいさつしてね。そして動物さんにみんなのお名前教えてあげてね。 ♪「きょうものしくアトリエランド」(おやこでアトリエランド 指導書 P.27)の歌をうたう。</p> <p>先生もぬいぐるみ(パペット)を持って生徒一人一人と「ミ」の音でごあいさつ。</p> <p style="text-align: center;">         こん ち は (はい) こん ち は        (先生) (生徒さん)     </p> <p>★うわあ、動物さんに、上手にごあいさつ出来ましたね。お りこうさん！ すごい！</p> <p>★動物さんと「こんにちは」のごあいさつが出来たら、今 度は、「さようなら」のお別れのあいさつです。</p> <p style="text-align: center;">         さよ う なら (はい) さよ う なら        (先生) (生徒さん)     </p>	<p>人数に応じて座り方に注意しましょう。 先生の声掛けは優しい声で、一つの 項目が終わったら必ず「上手に出来ま したね」と褒めます。</p> <p>先生はぬいぐるみ(パペット)を生徒さ んに渡します。嫌がるようであれば、親 に持ってもらいます。</p> <p>先生の歌う声が生徒に伝われば良い ので、反応に対しての過度の期待は しないようにします。</p> <p>ぬいぐるみ(パペット)を回収します。</p> <p>動物さんとのごあいさつのところで、 犬、小鳥、猫の音(効果音)を使用し ます。 「さようなら」のごあいさつは、もし出来 るようであれば、「ド」の音でもうたっ てみましょう。</p>	<p>0分</p> <p>7分</p>
<b>2. おかあさんとたのしくおさんぽ！ ねらい:スキンシップ／音楽反応(リズム、歌、音の高低 他)</b>		
<p>「おさんぽ」の音楽に合わせて親子で手をつなぎながら歩 きます(  )。</p> <p>★さあ、みんなでたのしくおさんぽにでかけましょ。</p> <p>即時反応の力を伸ばす</p> <p>① 止まる 先生の弾く音楽が止まったら、親と生徒もそれに反応し て歩くのを止めます。</p> <p>「歩く、歌う」⇒「止まる」⇒「歩く、歌う」⇒「止まる」 「歩く＝  」 余裕があれば「走る＝  」 「ゆっくり歩く＝  」も取り入れます。</p> <p>② たかいたかい 先生は曲の途中で高音クラスター(全音または半音関係 の複数の音を一度に鳴らす奏法)を弾きます。そのクラス ター音が聞こえたら、親は生徒を抱き「たかいたかい」を します。</p>	<p>テンポを保持します。</p>	


<p>また、元の「おさんぽ」の曲に戻り、歩きます。 再び高音クラスター音が聞こえたら、親と生徒は座ります。または、親が作ったトンネルの中に入ります。</p> <p>① と②を交互におこないます。</p>	<p>回数は多くても2回位まで。</p>	<p>12分</p>
<p><b>3.チューリップの歌をうたいましょう。 ねらい:歌うよろこび/表現/拍子感</b></p>		
<p>★おさんぽしていたら、お花畑に着きました。 ねえ、みんな、きれいなお花が咲いているね。何のお花かな？そう！チューリップ！！それでは、みんなで ♪「チューリップ」のうたを歌いましょう。</p> <p>「チューリップ」のうたを歌って、 ①親と生徒(子ども)は、両手でチューリップのお花を作り、横に ♪ で揺れながら歌います。</p> <p>②クラフト台紙に、折り紙で作ったチューリップの花を貼ります。 ※出来るようであれば、①、②の間に、スカーフのお花を作り、横に揺れても良いでしょう。</p>	<p>②のクラフト台紙は、ウェブ（<a href="http://www.roland.co.jp/school/member/AL.html">http://www.roland.co.jp/school/member/AL.html</a>）からダウンロードし、A4の紙に印刷します。</p> <div data-bbox="970 577 1209 864" data-label="Image"> </div> <p>あらかじめ B、C、D のパーツを作成して貼っておき、レッスンではパーツ A だけを貼ります(両面テープ)。</p>	<p>22分</p>
<p><b>4.お屋ごはんはサンドイッチ！ ねらい:表現</b></p>		
<p>★おさんぽに行って来たら、お腹が空いたね。 みんなでサンドイッチを作って食べようね。</p> <p>生徒は親に手助けしてもらいながらサンドイッチを作ります。片方の手の平(利き手ではないほう)をパンにして、その上に具をのせていきます。</p> <p>♪ パン パン パン サンド イッチ</p> <p>♪ のリズムで手遊びをする。</p> <p>炒り卵を のせのせ(利き手でのせる) きゅうりを のせのせ トマトも のせのせ ハムを はさんで(両手を合わせる) チーズを パラパラ(手首を振る) マヨネーズを ギューっ!(絞る動作) はい 出来上がり!(両手をあげる)</p> <p>★さあ、みんなでサンドイッチを食べましょう! 「ぱくぱく、もぐもぐ」(食べる動作) みんな、残さず食べたかな? 「ああ、おいしかった!」</p> <p>まとめ ★みなさん、今日はいろんな遊びをして楽しかったね! ○○ちゃん、楽しかった? ●●で遊んで楽しかったね。 と声掛けて回る。 時間に余裕があれば、「ブレイクタイム・レッスン」やその月の「歳時」のレッスンから選択して活動しましょう。</p>	<p>先生は表現豊かに。 生徒は親に手を添えてもらい、サンドイッチを作ります。</p> <p>項目が終わったら必ず褒めます。</p>	<p>25分</p>

## ② 「プチ・エトワール①」を使用した『アトリエランド』体験レッスンカリキュラム（2歳児用）

「アトリエランド指導書〔改訂版〕(T12-090)」の主要部分を引用しています。

必ず指導書を確認し、留意点、楽器活用法にも気を配りながらレッスンをすすめてください。

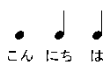
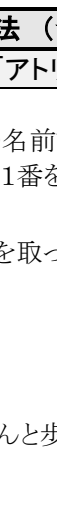
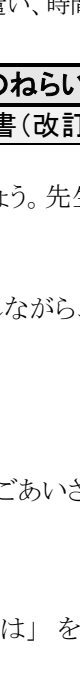


指導方法（★印…項目のねらい）	時間
1. 『こんにちは』（レッスン1より）※「アトリエランド指導書（改訂版）」P.15、16	
<p>★スキンシップ 「こんにちは。楽しくレッスンをしていきましょうね」 「では初めに、お名前を教えてください」</p> <p>1] 自分の名前を言いましょう。友達の名前も言ってみましょう。先生の名前も言ってみましょう。 レッスンの初めに、『ごあいさつ』の1番を歌いましょう。</p> <p>2] 自分の名前を呼ばれたら、お返事したり、手で打ったり、お母さんと手合わせ(トントン)をしながら言ってみましょう。</p> <p>【〇〇ちゃん。はじめにお母さんとごあいさつしましょうね】 「お母さん」(先生は保護者に呼びかけます。) 「〇〇ちゃんの手を取って、(先生は実際に動いてお手本を示します。)</p> <p> と歌ってみましょう。どうぞ。」</p> <p>3]  の音で、 と歌いながら、お母さんとおじぎをしたり、握手をしたりしてごあいさつしましょう。 「はい。上手に歌えましたね」</p> <p>「ではね。この本(「プチ・エトワール①」P.4)の絵を見てみましょう。」</p> <p>4] どうぶつさんと「こんにちは」</p> <p>5] 『おさんぼしましょう』の歌でお母さんと歩き、動物さんとごあいさつをします。 「いろいろな動物さんと楽しくおさんぼができましたね」</p> <p>「それでは、今度は鍵盤を使って、動物さんと「こんにちは」とごあいさつしてみましょうね」</p> <p>6] 鍵盤体験  と弾いてみましょう。</p> <p>&lt;時間的に余裕があれば&gt;</p>	0分
『ねこニャーニャー』（レッスン3より）※「アトリエランド指導書（改訂版）」P27	
<p>★鍵盤体験(パートナーレッスン) 「この本(「プチ・エトワール①」P.12)の絵を見て。ここにいる動物さんは誰かな？」 「そうね、ねこさんですね。鍵盤のところにねこさんがいるね。では、ねこさんになって、お母さんとみんなで鳴いてみましょう」 「上手に鳴きましたね。ではもう一度本の絵を見て……」 (先生はミュージック・アトリエまたはデジタルピアノのねこの効果音を弾きます。) 「鍵盤の中からねこさんの声が聞こえてきましたよ」</p> <p>2]2. (先生)  (生徒) </p> <p>3] まねっこメロディー</p>	6分

<b>2. 『おゆび』 (レッスン1より) ※「アトリエランド指導書(改訂版)」P17</b>	
★テンポ感、リズム、指のコントロール 1] 「プチ・エトワール①」P.5 の絵を基に物語を作ります。 2] 1. お母さんと向かい合って手をつなぎ、足踏みを練習しましょう。 2. 教室のコーナーに『動物カード』(りす、うさぎ、ぞう)を置き、お母さんと一緒にカードの動物になって歩きます。	<b>13 分</b>
<b>3. 『チューリップ』 (レッスン1より) ※「アトリエランド指導書(改訂版)」P19</b>	
★歌と拍子 1] お母さんの膝で、ゆりかごのように揺れながら、  とお顔を見合って歌いましょう。 さいた	<b>20 分</b>
2] 手合わせをしながら、歌いましょう。  「今日は楽しかったね!」「このように毎週レッスンしていきましょうね。」	<b>25 分</b>

## ③ 「プチ・エトワール①」を使用した『アトリエランド』体験レッスンカリキュラム（3歳児用）

「アトリエランド指導書〔改訂版〕(T12-090)」の主要部分を引用しています。


P4の体験レッスンカリキュラム(2歳児用)を参照のうえ、生徒への言葉遣い、時間配分などに留意してレッスンをすすめてください。

指導方法（★印…項目のねらい）	時間
<p><b>1. 『こんにちは』(レッスン1より) ※「アトリエランド指導書(改訂版)」P.15、16</b></p> <p>★スキンシップ</p> <p>1] 自分の名前を言いましょう。友達の名前も言ってみましょう。先生の名前も言ってみましょう。 レッスンの初めに、『ごあいさつ』の1番を歌いましょう。</p> <p>2] ☺の音で、 と両手を取って軽く拍を感じながら、お母さんや先生とごあいさつします。</p> <p>4] どうぶつさんと「こんにちは」</p> <p>5] 『おさんぽしましょう』の歌でお母さんと歩き、動物さんとごあいさつをします。</p> <p>6] 鍵盤体験</p> <p> 「こんにちは」を鍵盤で弾いてみます。</p> <p>&lt;時間的に余裕があれば&gt;</p> <p>『ねこニャーニャー』(レッスン3より) ※「アトリエランド指導書(改訂版)」P27</p> <p>★鍵盤体験(パートナーレッスン)</p> <p>2]2. </p> <p>3] まねっこメロディー</p>	<p>0分</p> <p>5分</p>
<p><b>2. 『おゆび』(レッスン1より) ※「アトリエランド指導書(改訂版)」P17</b></p> <p>★テンポ感、リズム、指のコントロール</p> <p>1] 「プチ・エトワール①」P.5の絵を基に物語を作ります。</p> <p>2] ロープで、幅40～50cm位の道を作り、その先端に『動物カード』を置きます。 カードの動物になって歩きます。</p> <p>3] 鍵盤上で、動物を表現してみましょう。</p>	10分
<p><b>3. 『チューリップ』(レッスン1より) ※「アトリエランド指導書(改訂版)」P19</b></p> <p>★歌と拍子</p> <p>1] お母さんと向き合って立ち、2拍子のスイング  をしながら、歌いましょう。</p> <p>2] 下のように手合わせをしながら、歌いましょう。</p> <p></p> <p>自分の手      相手の手</p>	<p>20分</p> <p>25分</p>



## ④ 「プチ・エトワール③」を使用した『アトリエランド』体験レッスンカリキュラム（4～5歳児用）

「アトリエランド指導書〔改訂版〕(T12-090)」の主要部分を引用しています。

P4の体験レッスンカリキュラム(2歳児用)を参照のうえ、生徒への言葉遣い、時間配分などに留意してレッスンをすすめてください。

指導方法（★印…項目のねらい）	時間
<p><b>1. 『こんにちは』（レッスン1より）※「アトリエランド指導書（改訂版）」P.114</b></p> <p>★音名唱、読譜、テンポ感、ニュアンス</p> <p>1] ごあいさつ</p> <p>1. ボールでお返事しましょう。 同じ様に、音名唱でもしてみましょう。</p> <p>2. ハンドサインBでごあいさつしましょう。 ミレミ、ドドドをハンドサインBをつけて音名唱しましょう。</p> <p>3. 「こんにちは」を</p> <p style="text-align: center;">(先生) (生徒)</p> <p style="text-align: center;">  </p> <p>言葉と音名唱で歌いましょう。</p> <p>①のつくことばを言いましょう。</p> <p>音符カード(五線)で、①(1点ハ)の音を覚えます。</p> <p>&lt;時間的に余裕があれば&gt;</p> <p>4. 上記の音名唱に慣れてきたら、ラソラでも歌ってみましょう。音名唱でもしてみましょう。</p>	<p>0分</p> <p>4分</p>
<p><b>2. 『ソルフェージュ』（レッスン3より）※「アトリエランド指導書（改訂版）」P127</b></p> <p>★音名唱</p> <p>1] せんせいのひくリズムを聴いてカードをゆびさしましょう。</p> <p>1. 3つのリズム ♪♪♪ のリズム唱、リズム動作を覚えましょう。</p> <p>2. 3つのリズムを歩きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めは足踏みをしましょう。</li> <li>・タイミングが取れたら、各々のリズムを個別に歩いてみましょう。</li> <li>・リズム唱、リズム動作をつけながら歩いてみましょう。</li> </ul> <p>3. 教室の三方に ♪♪♪ のカード(動物カード)を置き、先生の弾くリズムに合わせて、各々のカードのところまで歩きましょう。</p> <p>2] ロープで、幅40～50cm位の道を作り、その先端に『動物カード』を置きます。 カードの動物になって歩きます。</p> <p>3] 鍵盤上で、動物を表現してみましょう。</p>	<p>6分</p>
<p><b>3. 絵譜より</b></p> <p>※その日の天候などを考慮して、レッスン3『はな』、レッスン4『あめ』のどちらかの項目を選びます。</p> <p>『はな』（レッスン3より）(P.125)</p> <p>★音の高低、絵の持つイメージの表現</p> <p>1] 1. 絵の持つイメージを先生や生徒全員で話し合います。 2. 生徒は、花の代わりにきれいなハンカチやスカーフを持ち、「はな」のミュージックデータに合わせて♪のリズムで、頭の上、おなかの高さ、肩の高さに動かします。</p> <p>2] 先生はミュージックデータに合わせ、生徒のパートを弾きます。 生徒はそれに合わせ♪の長さでハンカチやスカーフを上下させます。</p> <p>3] ミュージックデータに合わせ、プチ・エトワール③P.12の葉っぱのおはなを指差します。</p> <p>『あめ』（レッスン4より）(P.130)</p> <p>★音の高低、ニュアンス</p> <p>1] プチ・エトワール③ P.16の絵を色鉛筆で塗りましょう。 塗りながらこの絵のお話をみんなでしましょう。</p> <p>2] 先生はミュージックデータに合わせ、生徒のパートを弾きます。生徒はそれに合わせ、ポツーンは○の長さでスティックを打ち、ザーザー降りは♪でシンバルをたたき、しとしと雨は♪でトライアングルを打ちます。</p> <p>3] プチ・エトワール③P.17の絵譜の傘のしずくを、ポツーン、ザーザー、しとしと雨の表情で指差します。</p>	<p>13分</p>



4. 『はなのなまえ』（レッスン3より）※「アトリエランド指導書(改訂版)」P125	
<p>★ことばとメロディーの高低</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1] 花の名前を言葉のもつ音の高低に気をつけて言ってみましょう。</li> <li>2] 打つ位置に高低をつけて、手拍子をしながら言葉を言いましょ。</li> <li>3] 軽くスイングしながら手拍子に高低をつけて言いましょ。 (先生と全員、先生と一人、一人で。)</li> <li>4] 先生は鍵盤で、言葉のもつ音の高低をメロディーにして弾きます。 それに合わせて生徒は、「まねっこメロディー」の時の様にハンドサインAをつけて歌います。</li> <li>5] 生徒には先生の真似をして鍵盤を弾いてもらいましょ。</li> </ol>	<b>17分</b>
5. 『ドのおと』（レッスン1より）※「アトリエランド指導書(改訂版)」P116	
<p>★両手分割奏、パートナーレッスン</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2] 1.先生は、本P.7『どんぐりさん』を歌いながら弾きます。音名(ド)でも歌ってみましょ。 ハンドサインBをつけて歌います。 「ごあいさつ」の項目で習った1点ハの「音符カード(五線)」「ド」を見て、 ハンドサインBをつけ、みんなと一緒に</li> </ol> <div style="text-align: center;">  <p>と歌います。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>2.楽器で1人ずつ先生の真似をして弾きます。</li> </ol> <div style="text-align: center;">  <p>と弾きます。</p> </div> <p>他の生徒は、ハンドサインBをつけて歌ったり、打楽器を打ったりしましょ。</p>	<b>22分</b>  <b>25分</b> <b>程度</b>

注) 3.(絵譜より)と4.(『はなのなまえ』)の項目は、どちらか一つを選んでも良いでしょう。

体験レッスンは内容をあまり濃くやり過ぎないようにしましょ。項目を多くし、満腹の状態が終わるより、腹八分目の雰囲気が終わった方が、後につながるでしょう。「この先はもっと面白そう、楽しそうだから『アトリエランド』を習いたい」とお子さまやお母さまに思っただけけるようにしましょ。

## 『アトリエランド』『おやこでアトリエランド』Q&A

『アトリエランド』『おやこでアトリエランド』のレッスンについて、よくある質問をまとめました。質問を受けた際の回答例にご活用ください。

### ★『アトリエランド』ってどういう意味？

☆ローランド・オルガンの名称は<ミュージック・アトリエ>と言います。その名称も由来の1つですが、そもそもローランド・オルガンの名称である”atelier“とは、フランス語で「画室、(職人の) 仕事場」を意味する言葉です。画家が真っ白なキャンパスに色付けをして作品を創り出すように、『アトリエランド』では「いろいろな音色を使いながら音楽を創造」していきます。そして、音楽を学ぶと同時に、真っ白な子どもたちの心を色鮮やかに、そして豊かに育てていく、それがこのコースの目指す幼児音楽教育なのです。

### ★『アトリエランド』『おやこでアトリエランド』の目標は？

☆『アトリエランド』『おやこでアトリエランド』では、生徒やその保護者と一緒に、からだ全体で音楽を楽しみながら、将来大人になってもずっと音楽と仲良しでいられる子どもを育てていきます。

オルガンやピアノにふれながら、「けんぱん」「うた」「リズム」をふんだんに取り入れ、子どもたちの身体や脳の発達に合わせて、「聴く」「弾く」「うたう」「リズム感」「アンサンブル」などの音楽の基礎能力をバランスよく習得していきます。

### ★保護者もレッスンに参加するんですか？

☆効果的に進めるために、1～3歳児のレッスンでは保護者と一緒にレッスンを進める部分があります。

レッスンでは、まず講師や保護者が見本を示します。この時期の子どもは『模倣期』といわれるように、まねをすることがとても活発です。講師、保護者、仲間の動きを模倣し自分のものにしていきます。

自宅では、保護者が先生です。保護者もレッスンに参加して、レッスンの内容を確認してもらいます。自宅では保護者が先生になってレッスンの予習、復習をすることで、子どもたちのやる気、理解度は飛躍的にアップします。講師と保護者が一体になって、効果的なレッスンを進めています。

### ★下の子どもがいるため、一緒にレッスンに参加できないのですが…

☆1～3歳児のカリキュラムの中には、保護者と一緒にする活動がありますが、その部分は講師が配慮をします。子ども同士で活動したり、保護者に負担の少ない方法での活動など、現状での最適な方法でレッスンをしていきますので、受付または講師に事情をご相談ください。また、下の子どもにとっては、お兄ちゃん・お姉ちゃんの『アトリエランド』のレッスンを見ることは、とても良い刺激になります。

### ★グループレッスンは何人くらいのレッスンですか？

☆「3名程度のグループレッスン」です。

「3名」というのは、『アトリエランド』『おやこでアトリエランド』を行うにあたって、講師が全員に目配りできる適度な人数で、子どもたちもとても集中してレッスンが受講できます。もちろん個人にも対応できる指導内容になっています。

### ★体育やお遊戯と異なる点は？

☆体育やお遊戯など、決められた中で運動や振り付けを練習することも大切ですが、『アトリエランド』『おやこでアトリエランド』では、音楽や絵などを通し、感じたこと、考えたことをそれぞれにイメージを膨らませ、自由に即時的に反応し表現していきます。筋肉作用だけでなく脳作用も活発に使ったカリキュラムで音楽をする上で大切な表現力が養われます。

### ★3月生まれなので、ついていけないか心配です。

☆幼稚園・保育園に入園すれば、前年の4月生まれの子どもと一緒にクラスになりますので、少しずつ慣れていくことが必要です。最初は大変ですが、レッスンは少人数でのグループですから一人ひとりに行き届いた指導ができます。グループを組む時に、早生まれの子どもと一緒にになれるよう、できるだけ配慮しています。

### ★『アトリエランド』『おやこでアトリエランド』では、楽器は必要でしょうか？

☆『アトリエランド』『おやこでアトリエランド』ではレッスンの初めから鍵盤に触れていきますので、レッスンしたことを家庭でも楽しむためには、同等の楽器があるのが理想的ですが、既にお持ちのキーボードなどがあればそれを活用すると良いでしょう。何もお持ちでなければ講師とよく相談し、レッスンの進度に合わせ検討してください。

## ★『アトリエランド』修了後の進路は？

☆『オルガン科 ベーシックコース』『ピアノ科 ベーシックコース』『ポピュラー・ジャズピアノ科 ジュニアポピュラーコース』  
『Vドラム科 ベーシックコース』の中から好きなコースに進むことができます。

### ■オルガン科 ベーシックコース

オルガンの奏法を基礎から学べるコースです。本格的なオルガン・サウンドと多彩なオーケストラ音色でアンサンブル演奏が体験できます。音色やリズムを選んだり、簡単な作曲をするなど、総合的な音楽の力を楽しく身につけることができます。

### ■ピアノ科 ベーシックコース

先生との連弾や、ミュージックデータとのアンサンブル演奏を通して、早い段階から弾く喜びを味わえるコースです。伝統のメソッドをふまえながら、幅広い曲を収めたオリジナル教本で、ピアノ奏法の基礎を無理なく習得することができます。

### ■ポピュラー・ジャズピアノ科 ジュニアポピュラーコース

ピアノを楽しみたい子どもに、なじみの深いさまざまなポピュラー曲で楽しく学べる、新しいスタイルのコースです。最初は鍵盤楽器演奏の基礎を楽しく習得し、次にリズムやコードを身につけながら、世界のさまざまなジャンルの音楽に触れていくことで、アレンジする力や自由に奏でる力を養います。

### ■Vドラム科 ベーシックコース

ドラム演奏を基礎から学びたい方のためのコースです。電子ドラム「Vドラム」ならではの多彩な音色や機能を活用して、リズムの基礎トレーニングやアンサンブル力、音楽的表現まで、楽しみながら効果的に身につけることができます。

『アトリエランド』『おやこでアトリエランド』 体験レッスン参加者名簿

年 月 日( ) :

担当講師:

※日時欄は、個人でレッスンをする時に使用↓

No.	フリガナ 参加者のお名前	男・女	生年月日	年齢	電 話	住 所	日 時
1	フリガナ	男・女	H. . . .			〒	
2	フリガナ	男・女	H. . . .			〒	
3	フリガナ	男・女	H. . . .			〒	
4	フリガナ	男・女	H. . . .			〒	
5	フリガナ	男・女	H. . . .			〒	
6	フリガナ	男・女	H. . . .			〒	
7	フリガナ	男・女	H. . . .			〒	
8	フリガナ	男・女	H. . . .			〒	
9	フリガナ	男・女	H. . . .			〒	
10	フリガナ	男・女	H. . . .			〒	
11	フリガナ	男・女	H. . . .			〒	
12	フリガナ	男・女	H. . . .			〒	

『アトリエランド』『おやこでアトリエランド』体験レッスンアンケート

お子様のお名前	(フリガナ)	住所 TEL	〒  TEL ( )
	平成 年 月 日 生まれ 様		

1. 本日の「体験レッスン」を何でお知りになりましたか？

- チラシ    ポスター    知人からの紹介  
地域情報誌    一般新聞    その他 ( )

2. レッスンで最も期待することは何ですか？

- 音楽教育    情操教育    知育教育    その他 ( )

3. 本日の体験レッスンはいかがでしたか？

- 良かった    普通    良くなかった

4. ご入会のご希望はいかがでしょう？

- 入会する    レッスン時間を予約したい    検討したい    入会しない

レッスンにおいてになるとしたら、  
ご都合のよい曜日、時間はどれですか？

- ( ) : ~ :  
 ( ) : ~ :  
 ( ) : ~ :

5. 上記以外で、特に希望される曜日、時間がございますか？

- ( ) : ~ :

6. その他、お気づきの点がございましたらご記入ください。

本日はありがとうございました。

ローランド・ミュージック・スクール  
***ROLAND MUSIC SCHOOL***